

# 四季の歌

俳句・短歌教室の詠歌紹介

第三十三回福智町ともしび短歌大会入選歌

縁糸とくがに薄紙ひらきゆく姉より届きし手編みのベスト  
風音に耳を澄ませば男らの地底の声か堅坑槽  
地に還るものの静けさ木犀の香り放ちて黄金に散らふ  
道端の無人売場に並べらるなすを三本運び購ふ  
この頭取つてくれとせがむ娘に水俣の海は何も語らず  
東北の波に吞まれし人2万吾の時代の震災なりき  
浅漬けの胡瓜はむ音三拍子今日は何やらしいことありそう  
職退きてせまき畑の土いじりトマトに赤き実のひとつあり

奥村 秀子  
高村 三也  
金丸 やつ子  
八代 範夫  
永末 良一  
前田 信子  
田原 麻子  
原田 和代

赤池隣保館句会

池田一歩選

孫ら来て笑ひの絶えぬ冬休み  
彼の人も昭和一桁ちゃんちゃんこ  
自ずから神に近づき神楽舞  
山城に冬木の風を聞く旅路  
這ひはひの曾孫炬燵に立ち上る  
冬晴といふ空の色山の色  
児はひとり置けぬ狸の出る山家  
十二月先づは心に襷掛け  
柔らかなき日に包まれて冬牡丹

千手 弘子  
大久保幸子  
小場 妙子  
丸山 鈴子  
熊谷カツミ  
吉田 弘  
末原ふさ枝  
芳野モト子  
池田 駒女

福智町金田公民館俳句教室

岩井鬼童選

咲きつぎて咲きつぎて白冬椿  
幽玄の笛の音秘めし竹を伐る  
吹きたまる落葉の嵩に日の匂ひ  
峡人は風に敏感山眠る  
名月も効能にしてかぐやの湯  
隙間風独りの夜を脅さるる  
萬紅葉縫りし岩に何請ふや  
吹き荒れてしどろもどろの芒かな  
神を説く牧師の禱り星月夜  
海神と山神繋ぎ大河澄む

長副美恵子  
仲谷ひろえ  
松岡 萬枝  
今井三千代  
西田 真美  
小川 雪  
山本 空木  
加藤きみ子  
小野 美幸  
建部三由紀

方城句会

池田一歩選

綿入れに背中丸めいて達者  
近況を語り合ひもし報恩講  
富士に向き落慶法要冬紅葉  
一病をうべなう心照葉活け  
花ハッ手開くことなき鉄門扉  
狐火や映画帰りの切通し  
手つかずのままに庭隅草もみじ  
一輪にして人目引く帰り花  
床の間に一輪挿しの枯茨

倉石嘉代子  
白石 凡子  
杉 フジエ  
長尾 冴子  
長末 耕一  
藤井耿之介  
渡邊 一枝  
尾崎 和子  
木村 誠一

## 福智の風

▶ 昨年は「のりものフェスタ(P4-5)」や「フクチ・ファインド・フェスティバル」など、福智の魅力が新たに創出され、町の知名度が高まった年だったと思います。その分、広報係はその魅力を広く周知しようとデスクで頭を抱える時間が増えましたが、それはうれしい悲鳴。話題が無くて悩む方がつらいからです。今年はどうな悲鳴が上がるのでしょうか…(久原)

▶ 新年号の表紙は正月の風物詩「たこ揚げ」です。もともと子どもの健康祈願のために行われていましたが、「立春の季に空に向くは養生の一つ(旧暦で立春にあたる正月に空を見上げると健康にいい)」という古来からの言葉と合わさり、次第に正月遊びとして定着したそうです。この表紙を取ったみなさんの、今年一年の“ご多幸”を祈って…。(相原)



大非常犠牲者が眠る山の神  
提供者●植田 辰生さん  
撮影日●昭和35年

大正3年12月15日に起きた「方城大非常」の犠牲者を慰霊する招魂碑が建立されている山の神。場所は中央保育所裏で、昭和30年代まではその敷地内に神社が建てられていました。

昔の写真を探しています！  
圓 総務課広報・広聴係  
☎22-0555



## Honors award

昭和30年に消防団入団以来、49年の長きにわたり消防業務に精励した仲村六助氏(伊方)。分団長や副団長を歴任し、団員の統率を図りながら、住民の生命と財産を守るため昼夜を問わず消防・防災活動に尽力しました。また、町議会議員として12年間、農業委員として8年10か月間、行政運営に携わった功績なども認められ、瑞宝単光章が贈られました。12月4日の伝達式には次男・磯吉夫妻が訪れ、「父が評価されて大変うれしい。入院中の父に早速報告に行きます」と話し、感謝の言葉を述べていました。



父の功績を掲げる仲村磯吉夫妻(写真中央)

消防功労で仲村六助氏が瑞宝単光章を受賞

平成25年秋の叙勲

## 福智に吹く南国の風をぜひご堪能ください



←童謡作曲家・河村光陽の生誕地である福智町と交友を育んできた沖縄県中城村との初共演。お聴き逃しなく！

日時▶ 1月18日(土) 15:00 開場 / 15:25 開演  
会場▶ 地域交流センター(伊方4478番地1)  
料金▶ 前売 大人1,000円 / 小中学生500円  
当日 大人1,500円 / 小中学生1,000円  
※未就学児はご遠慮ください。  
※3歳以上の託児あり、要予約。  
問 役場 まちづくり総合政策課 ☎22-7766

music festival

## インフォメーション & ニュース in FUKUCHI

### Minister commendation

伊方小で学校歯科医を務めるすぎはら歯科医院(伊方)の杉原瑛治院長が、学校保健の向上に尽力した成果が評価され、11月7日に秋田県で文部科学大臣から表彰されました。伊方小で35年間、歯科検診や歯科保健指導に携わり、学校保健の推進に貢献した杉原院長。「長く続けてこられたのは歯科医師会や周囲の支えがあつてこそ。とても光栄です」と受賞の喜びをかみしめ、「これからも児童たちの歯を見守っていきたい」と今後の抱負を語り、児童の歯の健康に対する継続的な活動を誓っていました。

学校歯科医として35年間務めた功績を評価



表彰状を手に、笑みをこぼす杉原院長(写真⑤)

すぎはら歯科医院の院長に文部科学大臣表彰

### 全国展で上野焼窯元から3人入選

第60回日本伝統工芸展



渡久兵衛作

田中 清山作

渡 仁作

今回で60回目を数える国内最大規模の公募展「日本伝統工芸展」に、福智町から渡久兵衛さん(渡窯)の「上野鉄釉櫛目文水指」、渡仁さん(渡窯)の「上野ヤケ釉壺」、田中清山さん(清山窯)の「上野鉄釉肩衝茶入」が入選を果たしました。陶芸部門に963点もの応募がある中、厳しい審査を経ての好成績。郷土が誇る伝統的工芸品「上野焼」の卓越した技と美への高い評価が示されました。なお、今回の入選作品は2月11日(四)から2月16日(日)までの間、福岡三越(福岡市)で展示されます。近くに行かれたときは、ぜひこの逸品をご覧ください。

traditional craft